

ひやく しやく かん とう 百尺竿頭

札幌市青少年山の家便り
第14号
平成23年9月1日 発行

札幌市青少年山の家
野外教育専門員 増子 義仁

～ 幼稚園・保育園・小学校の連携について ～

札幌市青少年山の家では、『野外教育の側面から学校教育に寄与する事業を実施する』ことを重点目標としています。そこで今年度新規に『幼保小連携モデル事業なかよしキャンプ』を実施することとなりました。平岡公園小学校と北野平小学校のご協力を得て、5年生の児童と次年度両小学校に入学する予定の幼稚園、保育園の年長児を対象として実施することで、各学校の次年度の小1スタートカリキュラムの一助とすることをねらいとする事業です。

昨年度末から、札幌市幼児教育センター・市立幼稚園園長会・札幌市野外活動教育研究会のご助言をいただきながら、下記のように年間全4回、それぞれのねらいを設け実施する予定です。

【山の家教育目標】	年 長 児	5 年 生 児 童
◆自然とふれあう	自然の楽しさと四季による自然の違いを知る	自然に対する関心を深め、より深く自然と接しようとする
◆人とふれあう	5年生とのふれあいを通して小学校への期待感を膨らませるとともに、社会性を養う	年長児とのふれあいを通して、高学年としての自覚とコミュニケーション能力を養う
◆自分とふれあう	自主性を高める	これまでの自分との違いに気付き、自信を深める

事前説明会	7月 2日 (土)	日帰り	会場：札幌市立平岡公園小学校
第1回	7月10日 (日)	日帰り	会場：札幌市青少年山の家
第2回	9月11日 (日)	日帰り	会場：札幌市青少年山の家
第3回	11月 3日 (木)	日帰り	会場：札幌市青少年山の家
第4回	平成24年2月11日 (土)	1泊2日	会場：札幌市青少年山の家

既に実施した7月の第1回では、9月に行う野外炊事で自分たちが使うカレーライス用のお皿を作り陶芸体験と、フィールド内にある沢遊びを行いました。お皿作り時には5年生の子どもたちが、年長児の子たちが苦勞している粘土を伸ばす作業をそっとお手伝いしたり、『こうやってやるんだよ。』という声かけがあったりとてもよいかかわりが見られました。沢遊びの時には最初は水の冷たさにとまどいながらも、水生昆虫を発見して歓声があがるなど、とても楽しく活動していました。冬の1泊2日に向け、第2回は野外炊事、第3回はネイチャーゲーム体験など、楽しく有意義な活動を展開していく予定です。



【 第1回 沢遊びの様子 】

8月実施事業より(ご報告)

長期自然体験学習モデル事業「トライキャンプ」が8月6日～10日に実施されました。

トライキャンプは『発見自然の不思議！自分の不思議！』をテーマに、一人ひとりの子どもたちが自ら進んで行動し、自然体験及び協働体験を通して新たな自分に気づく【変容】を促すことをねらいとして実施しました。

1日目は、テント設営・野外炊事でグループごとに協力する姿が見られ、仲間作りを中心として順調なスタートを切りました。星空観察では月のクレーターを見ることができ、子どもたちから歓声があがっていました。



2日目は朝読書からスタート。予想以上に子どもたちは集中して読書に取り組み、落ち着いた状況で活動を開始することができました。この日のメインは沢探検。水量は少なかったが天候に恵まれ、子どもたちは水の冷たさを楽しんでいました。また川の流れや地質など理科の学習的な要素を十分に含んだ活動となりました。洗濯活動は初めて手洗い洗濯をする子どもがほとんどでなかなか上手にできない子が多かったが、長期キャンプならではの体験として有意義でした。ナイトハイクは、サイレントウォークで実施し、五感を十分に使った活動となりました。

3日目、この日は『地球会議』を実施し、翌日の「登山の成功」というテーマを掲げ、一人ひとりの子どもたちの集団活動に対する意識を十分に深めるものとなり、長期キャンプにおける『話し合い活動』の重要性を感じました。

4日目は、いよいよトライキャンプのメインであり最も負荷の高い『小天狗岳登山』にチャレンジしました。気温30度を超える中、前日の『地球会議』での活動を生かし、グループ内で声をかけあいながら子どもたちは本当によくがんばって登山に取り組んでいました。7グループ中、6グループが山頂までたどり着き（1グループも自分たちなりの到達点まで到達）、達成感の高い活動とすることができました。夜のキャンプファイアでは、4日間の活動をふりかえりながら、子どもも指導者も思いっきり楽しむことができました。



最終日の清掃活動は、子どもたちの成長の証が見て取れる活動となり、一人ひとりの子どもたちが、高い意識を持ってしっかりと取り組んでいました。とても満足して晴れやかな表情で帰路に着く子どもたちの表情が、キャンプの価値を物語っていると感じました。

〔8月の利用者アンケートより〕（一部抜粋）

- 子どもたちにとっても貴重な体験を積ませることができました。
- スタッフの方々の仕事に対する真剣さを強く感じることができました。
- 以前利用したときよりも、細部にわたって改善が見られます。
- ▲いつもより施設内が暗く感じました。
 - 日の短い季節となってきましたので、早めの点灯を心がけます。
- ▲引率者の入浴時間を延ばしてほしい。
 - 施設の安全管理上、これ以上延ばすことは難しいと考えます。お客様に早めにお休みいただくためにも、ご理解とご協力お願いいたします。

【野生動物対策：ヒグマに出会わないために】

昨年度のドングリや山ブドウなどの豊作によりヒグマの出産数が多いことがあってか、今年度は先日の滝野カントリークラブでの出没を含め、市内でも痕跡や目撃情報が数多く報告されています。山の家は滝野公園内にあり、柵に囲まれているので大型野生動物の危険性は少ないと思われませんが、基本的に野外活動を行う場合、野生動物の生息地に踏み入るという認識を持つことが必要です。

公園エリアから出る野牛山登山等の際には鈴や笛などを持参し、定期的に音を出してこちらの存在を知らせ、ヒグマに出会わない工夫を人間側がしっかりと行いましょう。山の家では、指導者の方用に鈴やヒグマ撃退スプレーの貸出を行っておりますのでご利用ください。

「安全で楽しい野外活動を！」



発行者：札幌市青少年山の家指定管理者 財)札幌市青少年女性活動協会

住所 〒005-0862 札幌市南区滝野247番地

電話 011-591-0303 FAX 011-591-0394

URL <http://www.sapporo-yamanoie.jp>